2026年8月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月3日

上 場 会 社 名	ケイティケイ株式会社	上場取引所	東・名
コ ー ド 番 号	3035	URL	https://www.ktk.gr.jp/
代　　表　　者（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	青山　英生
問合せ先責任者（役職名）	専務取締役管理本部長 兼グループ戦略本部長	（氏名）	葛西　裕之　　TEL　052-931-1881
半期報告書提出予定日	2026年4月3日	配当支払開始予定日	2026年4月27日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月21日～2026年2月20日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	9,743	6.3	247	48.7	302	38.3	191	38.9
2025年8月期中間期	9,164	5.9	166	12.7	218	4.7	137	△13.7

（注）包括利益　　2026年8月期中間期　　310百万円（ 142.9%）　　2025年8月期中間期　　127百万円（△31.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	35.09	―
2025年8月期中間期	25.32	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	10,212	4,750	46.5
2025年8月期	9,335	4,477	48.0

（参考）自己資本　　2026年8月期中間期　　4,750百万円　　2025年8月期　　4,477百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	―	8.50	―	8.50	17.00
2026年8月期	―	10.00			
2026年8月期(予想)			―	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年８月期の連結業績予想（2025年8月21日～2026年8月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	4.1	500	17.2	600	16.4	420	26.4	76.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	5,725,000株	2025年8月期	5,725,000株
②　期末自己株式数	2026年8月期中間期	251,798株	2025年8月期	265,615株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	5,463,665株	2025年8月期中間期	5,448,976株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）中間連結貸借対照表 ……4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……9
（セグメント情報等） ……9
（重要な後発事象） ……10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年8月21日～2026年2月20日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が緩やかに進む一方で、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、円安基調の継続などを背景に、企業収益や消費動向に与える影響については依然として不透明な状況が続きました。また、世界経済においても地政学的リスクの長期化や各国の金融政策の動向等により、先行き不確実性が高い状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」の実現と中長期の成長を目指して新たに策定した中期経営計画「Growth Plan 2027」に沿って、サプライ事業を基盤事業、ITソリューション事業を成長事業と位置付け、グループ会社を挙げて重点施策を推進してまいりました。

サプライ事業におきましては、ペーパーレス化や業務のデジタル化の進展により印刷需要は中長期的に減少傾向にあるものの、企業等のコスト削減意識や環境配慮への関心の高まりを背景に、リユース製品への需要が底堅く推移しております。また、重点施策として取り組んできた新規営業活動が奏功した他、リユーストナーの市場再編が進行する中で、当社の製造直販型の安定した供給・品質管理体制が優位性を発揮してきたことで、自社製品の拡販が大きく伸長し、売上・利益に貢献いたしました。

さらに、PC販売等も引き続き好調に推移したことで、当中間連結会計期間におきましては、サプライ事業・ITソリューション事業ともに、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は9,743,078千円(前年同期比6.3％増)、営業利益は247,008千円(前年同期比48.7％増)、経常利益は302,783千円(前年同期比38.3％増)、親会社株主に帰属する中間純利益は191,725千円(前年同期比38.9％増)となりました。

なお、当社連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(サプライ事業)

企業のサステナビリティへの取り組みが一層重視される中、環境負荷低減に資するリユース製品の拡販が堅調に進み、増収増益を達成いたしました。

これらの結果、売上高は7,314,494千円(前年同期比3.0％増)、セグメント利益は452,203千円(前年同期比20.5％増)となりました。

(ITソリューション事業)

Windows11への切り替え需要によるPC販売等の増加が牽引し、売上・利益ともに伸長しました。

これらの結果、売上高は2,428,584千円(前年同期比17.9％増)、セグメント利益は91,679千円(前年同期比33.2％増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ877,142千円増加し、10,212,275千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ726,309千円増加し、6,987,493千円となりました。これは、主に現金及び預金が528,937千円、受取手形及び売掛金が227,352千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ150,833千円増加し、3,224,782千円となりました。これは、有形固定資産が2,482千円、投資その他の資産が188,557千円増加し、無形固定資産が40,207千円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ543,469千円増加し、4,906,524千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が285,505千円、電子記録債務が145,819千円、短期借入金が148,750千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60,829千円増加し、555,149千円となりました。これは、主に繰延税金負債が57,452千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ272,843千円増加し、4,750,601千円となりました。これは、主に利益剰余金が144,917千円、その他有価証券評価差額金が118,984千円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ530,547千円増加し、2,728,299千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、489,765千円(前中間連結会計期間は117,678千円の獲得)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前中間純利益305,372千円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額227,352千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、52,678千円(前中間連結会計期間は8,265千円の獲得)となりました。収入の主な要因は、定期預金の払戻による収入106,000千円であり、支出の主な要因は、定期預金の預入による支出104,390千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、93,460千円(前中間連結会計期間は87,699千円の獲得)となりました。収入の要因は、短期借入金の純増額150,000千円であり、支出の主な要因は、配当金の支払額46,492千円であります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向をふまえ、2025年10月2日に公表いたしました2026年8月期第2四半期(中間期)及び2026年8月期通期の業績予想並びに配当予想について修正をしております。

詳細につきましては、2026年3月25日に公表いたしました「2026年8月期第2四半期(中間期)及び通期連結・個別業績予測並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年８月20日）	当中間連結会計期間 （2026年２月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,722	3,051,659
受取手形及び売掛金	2,855,214	3,082,567
商品及び製品	689,991	655,396
仕掛品	―	267
原材料及び貯蔵品	112,139	114,730
その他	83,152	85,585
貸倒引当金	△2,037	△2,713
流動資産合計	6,261,183	6,987,493
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,150,441	1,150,441
その他（純額）	403,706	406,188
有形固定資産合計	1,554,147	1,556,630
無形固定資産		
のれん	146,722	123,194
その他	161,416	144,738
無形固定資産合計	308,139	267,932
投資その他の資産		
その他	1,212,917	1,401,275
貸倒引当金	△1,255	△1,056
投資その他の資産合計	1,211,661	1,400,219
固定資産合計	3,073,949	3,224,782
資産合計	9,335,132	10,212,275

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年８月20日）	当中間連結会計期間 （2026年２月20日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,499,204	1,784,710
電子記録債務	1,130,559	1,276,378
短期借入金	968,996	1,117,746
未払法人税等	129,134	120,147
賞与引当金	85,075	81,567
役員賞与引当金	21,688	11,400
株主優待引当金	16,308	8,005
その他	512,087	506,568
流動負債合計	4,363,054	4,906,524
固定負債		
長期借入金	25,432	17,184
役員退職慰労引当金	32,685	34,449
退職給付に係る負債	136,586	144,573
その他	299,616	358,943
固定負債合計	494,320	555,149
負債合計	4,857,374	5,461,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	669,980	673,441
利益剰余金	3,384,537	3,529,455
自己株式	△98,021	△92,540
株主資本合計	4,251,172	4,405,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,585	345,570
その他の包括利益累計額合計	226,585	345,570
純資産合計	4,477,758	4,750,601
負債純資産合計	9,335,132	10,212,275

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年８月21日 至　2025年２月20日）	当中間連結会計期間 （自　2025年８月21日 至　2026年２月20日）
売上高	9,164,884	9,743,078
売上原価	7,022,760	7,348,347
売上総利益	2,142,124	2,394,731
販売費及び一般管理費	1,975,980	2,147,723
営業利益	166,143	247,008
営業外収益		
受取利息	313	1,041
受取配当金	15,904	16,457
仕入割引	17,798	17,011
受取家賃	22,505	22,586
その他	3,595	7,942
営業外収益合計	60,117	65,039
営業外費用		
支払利息	4,736	6,554
不動産管理費	2,116	2,082
その他	451	627
営業外費用合計	7,304	9,264
経常利益	218,957	302,783
特別利益		
保険解約益	1,071	－
投資有価証券売却益	5,766	2,596
特別利益合計	6,838	2,596
特別損失		
投資有価証券評価損	347	－
固定資産除却損	0	7
特別損失合計	347	7
税金等調整前中間純利益	225,448	305,372
法人税、住民税及び事業税	80,538	115,289
法人税等調整額	6,924	△1,642
法人税等合計	87,462	113,646
中間純利益	137,985	191,725
親会社株主に帰属する中間純利益	137,985	191,725

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年８月21日 至　2025年２月20日）	当中間連結会計期間 （自　2025年８月21日 至　2026年２月20日）
中間純利益	137,985	191,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,055	118,984
その他の包括利益合計	△10,055	118,984
中間包括利益	127,929	310,709
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	127,929	310,709

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年８月21日 至　2025年２月20日）	当中間連結会計期間 （自　2025年８月21日 至　2026年２月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	225,448	305,372
減価償却費	50,688	48,287
のれん償却額	23,528	23,528
株式報酬費用	4,369	4,269
貸倒引当金の増減額（△は減少）	37	477
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△7,162	1,763
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△15,720	△10,288
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,738	△3,507
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△8,509	△8,303
受取利息及び受取配当金	△16,218	△17,498
支払利息	4,736	6,554
保険解約損益（△は益）	△1,071	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△5,766	△2,596
投資有価証券評価損益（△は益）	347	－
売上債権の増減額（△は増加）	△159,047	△227,352
棚卸資産の増減額（△は増加）	△29,478	31,736
仕入債務の増減額（△は減少）	97,201	431,325
その他	10,496	10,966
小計	172,140	594,734
利息及び配当金の受取額	16,218	17,498
利息の支払額	△4,624	△6,430
法人税等の支払額	△66,054	△116,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,678	489,765
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,810	△104,390
定期預金の払戻による収入	48,132	106,000
有形固定資産の取得による支出	△7,431	△25,690
無形固定資産の取得による支出	△32,640	△17,935
投資有価証券の取得による支出	△6,986	△7,763
投資有価証券の売却による収入	8,127	3,190
差入保証金の差入による支出	△5,642	△7,461
差入保証金の回収による収入	1,245	3,063
保険積立金の積立による支出	△1,168	△151
保険積立金の解約による収入	10,047	－
長期前払費用の取得による支出	△673	△1,659
その他	66	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,265	△52,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	160,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△28,130	△9,498
配当金の支払額	△43,753	△46,492
その他	△417	△549
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,699	93,460
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	213,642	530,547
現金及び現金同等物の期首残高	1,888,917	2,197,752
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,102,560	2,728,299

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2024年8月21日　至　2025年2月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	中間連結損益計算書計上額（注）2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,104,646	2,060,238	9,164,884	―	9,164,884
外部顧客への売上高	7,104,646	2,060,238	9,164,884	―	9,164,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,895	80,461	112,357	△112,357	―
計	7,136,542	2,140,700	9,277,242	△112,357	9,164,884
セグメント利益	375,323	68,830	444,154	△278,010	166,143

（注）1 セグメント利益の調整額△278,010千円は、セグメント間取引消去15,854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△293,864千円であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自　2025年8月21日　至　2026年2月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	中間連結損益計算書計上額（注）2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,314,494	2,428,584	9,743,078	―	9,743,078
外部顧客への売上高	7,314,494	2,428,584	9,743,078	―	9,743,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,016	96,253	138,269	△138,269	―
計	7,356,510	2,524,837	9,881,347	△138,269	9,743,078
セグメント利益	452,203	91,679	543,883	△296,874	247,008

（注）1 セグメント利益の調整額△296,874千円は、セグメント間取引消去13,744千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△310,619千円であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

【投資有価証券の売却】

当社は、2026年3月17日開催の臨時取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、売却いたしました。

１．投資有価証券売却の理由

コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直し、及び資本効率の向上を図るため。

２．投資有価証券売却の内容

⑴売却株式：当社保有の非上場株式1銘柄

⑵売却時期：2026年4月1日

⑶投資有価証券売却益：78,072千円

３．今後の見通し

上記の投資有価証券売却益につきましては、2026年3月25日公表の業績予想の修正に織り込んでおります。